

東広島市立中黒瀬保育所

保護者と一緒に取り組んだ段々砂場づくりで こどもたちの遊びが広がりますように・・・

保育環境づくりのポイント

始まりは他園に見学に行った時の玩具入れを見た時でした。その時、私たち保育士に‘ビビっ！’と電流が走ったのです。【感じる力】そこから素人ながらに子どもに合った、子ども達が楽しめる環境とは何か？を考えるようになりました。【考える力】もちろん失敗も沢山しました。許可を得て取りに行った竹を腐らせたりもしました。【動く力】それでも諦めず、色々な本や研修を受け、今まで考えもしなかった‘砂場を作り替える’という経緯に至りました。【やり抜く力】それには、私たち保育士だけで出来るものではありません。保護者や地域の方(黒瀬商工会)に協力していただきながら完成しました。【人とかかわる力】

～こどもたちのこの力を育みたい～

腕を砂まみれにしながら友達と山を作ったり、トンネルを掘ったり。砂は崩れても、また作り直せるし、水を混ぜると感触も変わる5つの力全てが入っている最高の遊びです。

- 感じる・気付く力
- うごく力
- 考える力
- やりぬく力
- 人とかかわる力

取組み内容

この環境作りは‘段取り悪いことが良い事’講師の先生に言われた【目から鱗】の一言でした。



大切なのは、保育士同士、子どもの姿を想像しながら、対話しながら作り上げること。そして、地域の方と繋がり、一緒に取り組むこと。



次はもっと多くの保護者の方に参加して頂き、子どもの事をワイワイ語らいながら出来ます様に。



旧モデル砂場

新モデル砂場



当初、四角い砂場の予定でしたが、鉄柱が危ないと感じた保育士の不安感を取り除くため、急遽八角形に。

その後、振り返りの研修で話し合ったこと、学んだことはルールを作るのはあくまでも子ども達自身。低年齢児は段差が高くて登れないかも…でも、自分で登れるようになるプロセスを楽しんでみない？という事になりました。私たち大人は砂場を作ったつもりでも、子ども達は違うものとして楽しんでいるかもしれませんね！



‘根詰めない’講師の先生のお人柄が保育士の「作らなきゃ！」から「作ってみよう♪」に変えてくれました。



巧(保護者)が傍で指導してくださる安心感から、保育士もどんどん主体的に取り組み始めました！

